

## 主要越冬地における地上カウント調査（ライトセンサスなど）

資料名	H 2 1 年度第 1 エゾシカWG 会議資料
調査主体	北海道、斜里町、羅臼町、知床財団
評価項目	6 . エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
管理目標	管理計画の目標は「近代的な開拓が始まる前（明治以前）の生態系」の状態であるが、具体的な資料存在しない。従って、資料が存在する直近の状態である知床半島自然生態系総合調査（1979～1980 年）時点の個体群レベルを目標とする。
モニタリング項目	エゾシカの生息状況の把握
評価指標	単位距離あたりの発見頭数または指標
評価基準	1980 年代初頭のレベル

### < 平成 2 0 年度の具体的調査手法 >

調査はシカ年度単位で実施

越冬地	調査手法	調査距離	調査時期	調査実施主体
幌別岩尾別	ライトセンサス	9.5km	春、秋	斜里町
ルサ相泊	ライトセンサス 日中センサス	10.4km	通年 2～3月	羅臼町・知床財団
真鯉	日中センサス	約 10km	1 2～4 月	知床財団
羅臼峯浜	ライトセンサス	約 10km	1 0 月末	北海道

### < 平成 2 0 年度の具体的調査データ >

#### 幌別岩尾別

平成 2 1 年度の春は幌別、岩尾別がそれぞれ 13.5 頭/km と 7.2 頭/km であった。前年の同時期の調査結果は 15.2 頭と 12.5 頭であった。

#### ルサ相泊

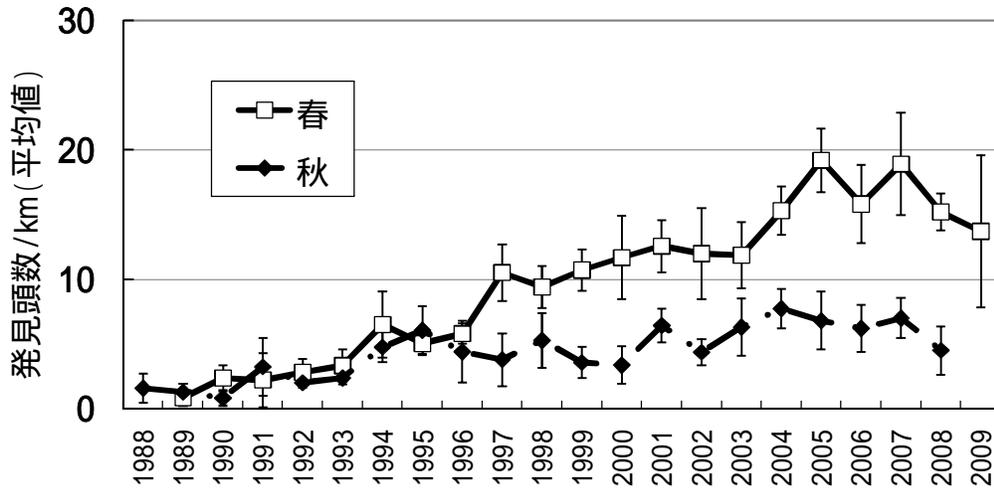
今冬は例年より集まりが遅く、確認数 50 頭以下から 3 月下旬に最大 237 頭（29.7 頭/km）に増加し、4 月には 100 頭以下となった。

#### 真鯉

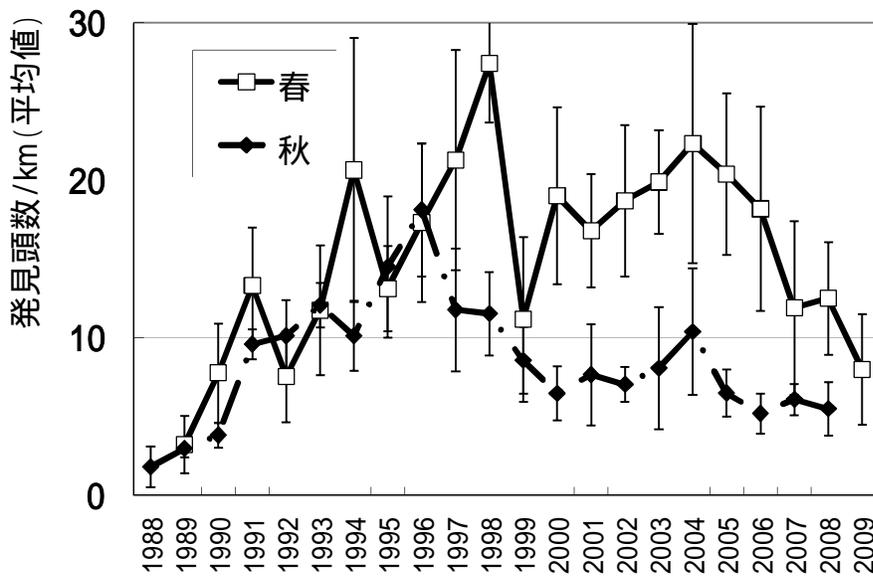
平成 21 年 2 月はじめから増加、最大 504 頭（2 月 28 日 50.4 頭/km）、前年の最大は 461 頭。

#### 峯浜

平成 20 年 10 月に 2 コースで調査を実施。それぞれ 26 頭（2.2 頭/km）、20 頭（1.8/km）



図． 幌別地区におけるライトセンサスによるシカ発見頭数（斜里町資料）。



図． 岩尾別地区におけるライトセンサスによるシカ発見頭数（斜里町資料）。

<コメント>

知床半島自然生態系総合調査報告書（動物編）（1981）に記載されている知床半島のエゾシカの平均密度は0.93～0.97頭/km<sup>2</sup>となっている。

<評価>